

“小さな群れよ、恐れるな。あなたの父はよろこんで神の国をくださる”（ルカ12-23）

カトリック美唄教会 ・ カトリック砂川教会 教会だより

小さな群れ

2024年12月
2024年11月24日発行
主任司祭 ナルチゾ・カヴァッツォラ

ホームページ <https://caterina.sakura.ne.jp>

教会カレンダー（典礼暦）は、待降節から始まります。

2025年度は、12月1日からです。

つまり、今月からまた教会カレンダーの新しいページが始まるのです。

カトリック教会は、教会カレンダーを通して“イエス・キリストの救いのわざ”を思い起こして祈ります。

キリスト者にとってこの救いの業の出来事は、神の恵みを意味しています。

キリスト者共同体の典礼が、カレンダーを通じ1年という周期で、キリストの神秘全体を思い起こしていきます。

この新しい典礼では、「目を覚ましていなさい」というメッセージで始まっています。人生において突然身に起こってくる出来事に祈りつつ救い主イエス・キリストの誕生を迎える準備をしていきます。

また、12月には、日本宣教の保護者聖フランシスコ・ザビエル司祭の祝日、無原罪の聖マリアの祭日、そして、主の降誕祭からは8日間荘厳に祝う日々が続きます。

2024年12月24日にはバチカンのサンピエトロ大聖堂の聖なる扉が開かれ、2025年の通常聖年が開幕します。

聖年は、教会生活において、霊的、教会的、社会的に重要な出来事であり、キリストにおける救いという確かな希望を心に呼び起こします。

教皇は「聖年を、神の恵みから希望を受け、神へと向かう歩みを強めていただく機会とするとともに、困難にある多くの人に希望をもたらす者となるよう」と招いています。

全教会の信徒たちとこの12月を希望のうちに巡礼の旅を続け、豊かに祈る日々といたしましう。



砂川教会 お知らせ

砂川市東5条南3丁目3-1 TEL 0125-52-4617 FAX 0125-52-4618

12月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	担当
1	日	待降節第1主日 当教会出身聖職者、修道者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み：多田 第1:木下 第2:野呂 答唱詩篇：三上夫妻 オルガン：能村
8	日	待降節第2主日 司祭と召出しを求めるために祈る日	9:00 ミサ 先読み：高塚 第1:本田 第2:間野 答唱詩篇：多田・野呂 オルガン：能村
15	日	待降節第3主日 病者と洗礼志願者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み：多田 第1:三上朋 第2:安藤 答唱詩篇：間野・木下 オルガン：能村
22	日	待降節第4主日 教会から離れた信徒のために祈る日	9:00 ミサ 先読み：高塚 第1:久保 第2:西川 答唱詩篇：三上夫妻 オルガン：能村
24	火	主の降誕	18:00 ミサ
25	水	主の降誕	9:00 ミサ
29	日	聖家族 死者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み：多田 第1:木下 第2:野呂 答唱詩篇：間野・安藤 オルガン：能村
◆平日のミサ 月曜日～金曜日 17:00 土曜日 10:00			

◆今月の霊名記念日の方 … おめでとうございます（敬称略）

1 日	フランシスコ・サビエル	中西 利雄
14 日	聖ヨハンナ・フランシスカ	高橋 有子 シスター
26 日	聖ステファノ殉教者	本田 日出男

◆お知らせ

- ・12/ 1(日) クリスマスツリー準備
- ・12/15(日) 大掃除
- ・12/24(火) ミサのあと、小さなパーティーを行います
- ・毎週水曜日 10:00～ 聖書に親しむ会を実施しています。

◆幼稚園関連

- ・18日(水) クリスマスの集い
- ・19日(木) クリスマスパーティー
- ・20日(金) 2学期終業式



砂川 花当番	
21日(土)	多比良
28日(土)	木下



美唄教会 2024 年 12 月 主日ミサ・平日のミサ予定

美唄市東 2 条南 3 丁目 2-10 TEL&FAX 0126-63-2434

美唄教会 小さな群れ
通巻No.331
2024 年 12 月
2024 年 11 月 24 日発行

・主日ミサ 朝の祈り 「 洗礼志願者のための祈り 」

日	曜	ミサ		各種勉強会	会議・その他事項
		主日・祭日	時間		
1	日	待降節第1主日	午前 11:00		宣教地召命促進の日
6	金		午前 10:30	聖書に親しむ(ミサ後)	
8	日	待降節第2主日	午前 11:00		ミサ後 運営委員会
13	金		午前 10:30	聖書に親しむ(ミサ後)	
15	日	待降節第3主日	午前 11:00		ミサ後 ツリー・馬小屋の飾り付け作業
20	金		午前 10:30	聖書に親しむ(ミサ後)	
22	日	待降節第4主日	午前 11:00		
24	火	主の降誕 前夜	砂川教会にて		砂川教会のミサ 18:00~
25	水	主の降誕	午前 11:00		
27	金		午前 10:30	聖書に親しむ(ミサ後)	
29	日	聖家族	午前 11:00		

2025年1月 予定

1	水	神の母聖マリア	午前 11:00		世界平和の日
---	---	---------	----------	--	--------

《 平日のミサ 》 金曜日のみ 午前 10:30 6・13・20・27日です
《 聖書に親しむ 》 平日のミサ後、旧約聖書に親しんでみませんか。

霊名の祝日 (敬省略)		清掃当番
8日 無原罪の聖マリア	佐々木 愛	【第2週】板垣・山本
13日 ルチア	葛西 道子	【第4週】中村
15日 クリスタナ	菅野 美月	花当番
		東

【お知らせ】

- ◎ 12月 1日 宣教地召命促進の日は特別献金です。
- ◎ 12月15日 ミサ後、聖堂内のツリーと馬小屋の飾り付け作業を行います。
軽食を準備する予定です。なお、片付けは1月12日に行います。
- ◎ 12月～3月までの第3水曜日の「ロザリオの祈り」はお休みになります。
- ◎ 幼稚園行事 7日(土) クリスマス聖劇(市民会館大ホール)
17日(火) 誕生会 (聖堂使用) 20日(金) 2学期終業日

待降節を迎える

美唄教会 大城 繁子

教会暦では12月1日より新しい年C年が始まります。主のご降誕を迎える待降節が始まり、何かと犠牲をしながら毎日を過ごすこととなりますね。

1994年11月27日 朝日新聞「天声人話」に掲載された記事を紹介したいと思います。

百年近い昔の話である。ニューヨークに住む米国人の少女が新聞社に手紙を書いた。「私は8歳です。友達の中に、サンタクロースはいない、と言うものがあります……どうぞ本当のことを教えて下さい。サンタクロースは、いるのでしょうか」

短い手紙だった。署名は、バージニア・オハンロン。何日か後に、サン紙は「サンタクロースは、いるか」という長文の社説を揚げた。1897年9月21日付である。社説はまず手紙を紹介し、次いで「バージニア、あなたの友達の間違っていています」と語りかけた

このごろ何でも疑ってかかる人が多い、目に見えるものしか信じようとせず、自分の小さな頭で考えて理解できないものは存在しないと思ってしまう、だが、限りなく広い宇宙と比べたら、人間の知識など小さな虫程度のもの……

そう、バージニア、サンタクロースはいる、それはこの世の中に愛や人への思いやりや真心があるのと同じように確かなことです、サンタクロースがいなかったら、素直に信じる心も、詩も、ロマンスもなく、人生はちっとも楽しくない……

サンタクロースを見た人がいないからといって、サンタクロースはいないと言えるでしょうか、この世でいちばん確かで本当のものは、大人の目にも子どもの目にも見えないのです……。この社説はサン紙がその後毎年掲げ、米国ではほかの新聞や雑誌にも引用されるようになった

村上ゆみ子著・東逸子絵『サンタの友だち バージニア』は、少女がどういう人生を歩んだかを、親族にも会い、調べて書いた本である。有名になった社説をだれが書いたのかも記されていて、興味深い

目に見えぬ、輝かしい世界への幕開けられるのは「信じる心、想像力、詩、愛、夢みる気持ちだけです」。日常生活の繁忙の中で忘れがちな、大切なことを、改めて思い出させてくれる。

